

各 位

財団法人尾瀬保護財団
事務局長 笛田 浩行



平成22年シーズンの至仏山の利用について（通知）

日頃より、至仏山保全対策の推進につきまして、多大な御協力を賜り感謝申し上げます。さて、至仏山の保全対策については、至仏山保全基本計画に沿って各対策を実施してきたところですが、過日開催しました至仏山保全対策会議において、平成22年シーズンからの利用のルールに関して、下記のとおり決定いたしました。

つきましては、至仏山保全対策の趣旨を御理解いただき、各対策の実施について御協力くださいますようお願い申し上げます。

また、当財団ホームページでは、至仏山に関するお知らせを掲載していますので、ホームページを開設されている方につきましては、当財団ホームページをリンク設定するなどしていただき、利用者に広く情報提供できるよう御協力をお願いいたします。

記

1 平成22年シーズンからの利用ルールについて

(1) 残雪期の登山道閉鎖期間の変更

【平成21年シーズン】

閉鎖期間：5月11日～6月30日

【平成22年シーズン以降】

閉鎖期間：5月7日～6月30日

(2) その他

その他の利用のルールについては、平成21年シーズンと同様です。詳細については、別添「至仏山入山の皆様へ（H22シーズン）」をご参照ください。

(財)尾瀬保護財団 企画課 小野里
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 県庁17階
TEL 027-220-4431 FAX 027-220-4421
URL <http://www.oze-fnd.or.jp/>

至仏山入山の皆様へ（H22シーズン）

1 GW(ゴールデンウィーク)前後の入山について

この時期の至仏山は、春山の穏やかな面と雪山の厳しい面を持っています。安易な入山は大変危険ですので、雪山登山の技術を持たない方は入山を控えてください。
また、入山する場合には植生保護のため『地面が露出しているところには、近寄らない』、『残雪が多くあるところ以外は、乗らない・歩かない・スキーなどで滑らない』ようお願いします。

2 残雪期の登山道閉鎖について

残雪期の植生保護のため5月7日（金）から6月30日（水）＜予定＞まで至仏山登山道を閉鎖します。閉鎖解除日（山開き）は7月1日です。

雪が溶け地面が露出したところや残雪の薄くなっているところを踏みつけることは、芽吹き始めた高山植物へ大きなダメージを与えてしまうとともに、踏まれることによって地面が沈下し水の流れ道ができ、土壌を浸食することによって至仏山の荒廃をますます進めてしまいます。

3 山開き直後の利用について

雪渓を避けるために、指定された登山道から外れて植生の上を歩行することのないようにしてください。
年によって違いますが、山開きから7月中旬くらいまでは雪渓があります。入山する方は登山ガイドと入山されるようお願いします。また雪渓歩きは転滑落の危険が伴うため、残雪歩きの技術を持たない方は入山を控えてください
(雪渓の状況等は尾瀬保護財団ホームページ等で御確認ください)。



(H21.6.21 小至仏山南面の様子)

4 東面登山道について

東面登山道(山ノ鼻～至仏山頂)は山ノ鼻から「上り」専用です
(山ノ鼻～森林限界は除く)。



東面登山道は、山ノ鼻から山頂までの直登のコースです。蛇紋岩という大変滑りやすい岩石でできているため「下り」ことは危険です。
また「下り」ではどうしても歩きやすい植生に乗ってしまい、植物を傷め、登山道の荒廃をさらに広げてしまうなど、至仏山荒廃の大きな原因の一つと考えられています。

5 至仏山のトイレについて

至仏山にはトイレがありません。登山口でトイレを済ませてから入山しましょう。万が一に備えて「携帯トイレ」を携行されることをお願いします(使用済みの携帯トイレは持ち帰りをお願いします)。

6 ストックの利用について

尾瀬でストックを使用する際は、ストックの先端にキャップを付け、登山道の外側へ突かないようにしてください。尖った先端は植生や土壌を傷めます。

